

豊田市交通安全市民会
令和7年度

交通安全

作品集



豊田市議会
議長賞

手寫 華菜
(前林中1年)



豊田市長賞

吉田 朝陽
(梅坪小1年)



豊田警察署長賞

林 蒼真
(中山小2年)



はじめに

豊田市交通安全市民会議では、交通安全作文・手紙、交通安全ポスター、交通安全標語を募集しています。作品の制作を通し、作者自身の交通安全意識を高めていただくとともに、作品を公開することにより、多くの方へ交通事故撲滅の願いを届けたいと考えています。

今年もたくさん交通安全作品の応募をいただきました。この「交通安全作品集」に掲載した作品は、交通事故の恐ろしさ、悲しさ、心構えなどをつづった作文、工夫されたデザインや力強くあるいは繊細に描かれたポスター、そして簡潔でわかりやすく交通安全を訴えた標語で、いずれも厳正な審査を経て選ばれた、すばらしい作品ばかりです。この「交通安全作品集」を多くの方にご覧いただき、皆様の交通安全意識の高揚と交通事故防止にお役立ていただければと思います。最後に、交通安全作文・手紙、交通安全ポスター、交通安全標語をご応募いただきました多くの皆様に、心から感謝とお礼を申し上げます。

豊田市交通安全市民会議

会長 高村 伸一

目次

交通安全作文・手紙の部

《最優秀作品》 5点……………1ページ

①豊田市長賞	前田 智輝	浄水中学校	3年
②豊田市議会議長賞	山内 結菜	猿投農林高等学校	2年
③豊田警察署長賞	藪下 ひらり	猿投農林高等学校	1年
④豊田市教育委員会賞	尾村 雪華	浄水北小学校	5年
⑤豊田市交通安全市民会議会長賞	土井 慶祐	浄水北小学校	6年

交通安全標語の部

《最優秀作品》 1点……………6ページ

①豊田市交通安全市民会議会長賞	北村 奏多	美山小学校	1年
-----------------	-------	-------	----

《優秀作品》 7点

《佳作作品》 10点

交通安全ポスターの部

《最優秀作品》 6点……………表紙・裏表紙

①豊田市長賞	吉田 朝陽	梅坪小学校	1年
②豊田市議会議長賞	手嶋 華菜	前林中学校	1年
③豊田警察署長賞	林 蒼真	中山小学校	2年
④足助警察署長賞	柴田 衣千花	則定小学校	5年
⑤豊田市教育委員会賞	柏木 菜帆	野見小学校	4年
⑥豊田市交通安全市民会議会長賞	丸山 葵羽	駒場小学校	6年

《優秀作品》 12点……………7ページ

《佳作作品》 12点……………9ページ

交通安全まんが……………11ページ

※作文中に引用されるデータは、制作者本人の調査によるものです。

※作文中の表現については、原文を基本として掲載しておりますが、誤字、脱字については、事務局で修正させていただいております。

『母の経験から学ぶ』

浄水中学校 3年 前田 智輝

「あっ！」次の瞬間、目の前が真っ暗になった。騒がしく動いている人の気配とたくさんの人の声がある。「何だろう……。夢かな。」と思った瞬間、私をのぞき込む数人の顔とその間から青空が見えた。

これは私の母が高校生の時に起こした交通事故の記憶です。この話を聞いたのは、私の通う中学校から「自転車のマナー」について各家庭で確認するようになり。」と連絡が入った日の夕食の席でした。

母が起こした交通事故は、自転車で高校へ向かう時に起きました。車がすれ違うことができない狭い道路で、いつも通り一人で走行していました。すると、勢いよくトラックが母を追い抜いたと思った瞬間、急に止まったのです。母は「こんなところで停車しないでよ。」と思ったそうです。荷物の積み下ろしか何かの都合で止まったと思ったのです。そこで母は、トラックを避けようと、トラックの右側から出て自転車をこぎ始めようとしていました。次の瞬間、対向車から車が走って来るのが見えたそうです。そして冒頭のようになり、目の前が真っ暗になり、しばらく記憶がなくなりました。母は対向車のフロントガラスに頭から突っ込んで、そのまま跳ね飛ばされて車の前に落ちたそうです。

私はこの話を聞いて、とても恐ろしくなりました。母は対向車が見えた瞬間から記憶がありません。これまで歩んできた自分の人生が、訳も分からず終わるかもしれない瞬間だったのです。

きっと対向車のドライバーも恐ろしい瞬間だったと思います。トラックの陰から高校生の母が急に現れて、急ブレーキを踏んでも間に合わないのです。フロントガラスに頭から突っ込んできて、車の前に飛んでいくのですから、恐怖と絶望を感じたのではないかと思います。

私はこの話から、この事故が何故起きたのか、避けられなかったのかを考えてみました。

一、もし、母が正常な判断ができたならば

この日、母は大学受験を明後日に控え、連日の深夜までの勉強で寝不足気味だったそうです。判断力が欠けていたそうです。トラックが止まった理由の一つとして「対向車が来たのではないか？」と考えることができていたら、少し待つことができたかもしれません。

二、もし、トラックが母を追い越さずに、狭い道が終わるまで待っていたら
れたならば

朝の通学・通勤時間帯で、誰もが急いでいたのでしょう。何台もの自転車と車が歩道のない道路を走っているのですから、お互いにヒヤヒヤして走行しているし、スムーズに走行できないと感じていたのかもしれませんが。早く目的地に着きたい思いから、思いやりに欠けた運転になっていた可能性がります。

三、もし、母が狭い道を通らずに登校できたのならば

高校へ続く道は、この道しかなかったそうです。この道を通らざるを得ません。ならば、もっと慎重に行動すべきでした。

この事故で唯一救いだったのは、対向車が速度を落としていて、いつでも止まれる状態で通過しようとしてくれたことです。もし、対向車が急いで通過していたら、きっと母は弾き飛ばされてもっとひどいことになっていたと思います。対向車のドライバーに感謝しありません。しかし、この事故で、一番罪を問われたのは対向車のドライバーだったはず。今でも母は申し訳なかったと感じているようです。

もし母が、この事故で命を落としていたら、今の私は存在しません。こうして母が自分の経験を語ってくれたことで、私は自分の運転を真剣に見直すことができました。そして一層気を付けようと思いました。

『一瞬で崩れた、当たり前の日常』

猿投農林高等学校 2年 山内 結菜

十二月四日の朝、そのときの出来事は一生忘れることはありません。

私は普段学校に自転車に通っています。しかし、その日はなぜか学校まで送ってほしいと思いました。だから、祖母に「学校まで送ってほしい」とラインを送りました。全く既読がつきませんでした。諦めて自転車で行こうとしたとき、祖父が事故と電話がかかってきたと騒いでいました。私を乗せて学校に行く途中に車同士の事故かと思い、私の名前を何度も言っていました。私はまだ家にいたため、なんで慌てているのかわかりませんでした。祖父は私の姿を見て、少しほっとしていました。「遅刻するから学校に行きな」と言われましたが、兄が「行かなくていい」と私を止め、病院に行きました。

祖母は毎朝健康のために散歩をしていました。病気もなく、信号を赤で渡るような人ではありません。病院に着くと、母が泣いていました。私は足が骨折くらいで大したことないと思うと勝手に決めてしまいました。病室で見た祖母の姿は血だらけで全身の骨が折れていました。まだ心臓は動いていたため、医師たちは助けようとしてくれました。しかし、「命が危ない」と言われ、親戚や祖母の友人を呼びました。祖母はみんなの声を聞いて頑張ってくれました。けれど、ハイエースに五メートルも飛ばされた身体は限界を迎え、亡くなってしまいました。

信号を守って歩いていただけの祖母。あと数秒で渡りきれたはずでしたが間に合いませんでした。祖母の存在は見えていたのに、止まらず進んだ車を絶対に許せません。運転手は逮捕されましたが、祖母の命が奪われたという事実が変わることはありません。

前日の夜、私はテストで疲れてしまい祖母が作ったご飯を食べません

でした。それは、祖母が作ってくれるご飯で一番好きなものでした。今までご飯を食べない日はありません。祖母に学校まで車で送ってほしいと言ったこともです。思い返せば、偶然がいくつも重なっていました。祖母がなにかを感じていたような気がします。

毎日帰りが遅くなる私に毎日ラインをしたり、帰ってくるまで外ですっと待っていて、「心配性すぎだよ」と思っていました。あの日から今日まで誰にも心配されないことに気づき、それがどれだけの愛情だったか思い知らされました。いなくなってから気づくことばかりです。後悔しても、もう祖母は戻ってきません。毎日が当たり前だと思わずに生きたいと思いました。

私は自転車で登校するとき、歩行者を見ずに進んでいる車を何度も見ました。私は車が止まっていると思い、進みました。すると、車が動き出しました。急ブレーキをしてくれて私は助かりました。もし気づかれていなかったら、私はもう生きていなかったかもしれません。私の自転車は祖母が買ってくれた自転車です。私が助かったのは祖母のおかげだと思っています。これからも車が止まっていると、信号が青でも、運転手が私を見ているか確かめてから進みたいと思いました。車を運転している方も歩行者がいることを確認してから進んでほしいです。



『ながらスマホの危険性』

猿投農林高等学校 1年 数下 ひらり

みなさんは、スマートフォンの危険性について理解していますか。特に今では、ながらスマホをしている人が多く、事故につながるケースが増えていきます。そこで今回はながらスマホによる危険性について考えました。

私は高校生になり、学校にスマートフォンを持っていって良いことから、使用する時間が増えました。高校入りたての頃などは登下校でスマートフォンを使用する回数が多く、前から歩いてくる人や自転車などに気づかず、ぶつかりそうになったり、迷惑をかけることがありました。また、音楽を聴いて歩いていると周りの音が聞こえにくく、危ないと思いました。実際に歩きスマホでの事故は年々増えており、特に十代から二十代の人が歩きスマホをしていることが分かり、登下校での事故も少なくないことが分かりました。

歩きスマホをすることで、視野が狭くなり周りが見えなくなることから、自分以外の他人も巻き込むなど危険な行為です。事故の例として、駅のホームから転落したり、赤信号に気づかず道路を渡ってしまったり、障害者などと接触し大怪我をさせてしまう事があります。障害者の中でも視覚障害者などお互い前が見えていない状態でぶつかったら、重大な事故につながる可能性があります。さらに、ひったくりやスリ、痴漢などと犯罪に巻き込まれることもあります。事故の種類別では、「ぶつかる」が最も多く、次に「こるぶ」、「落ちる」となっています。スマートフォンを見る際には人の邪魔にならないところに移動し、使用する事が大切です。事故にあった事がなくても、歩きスマホをした事がある人は少なくないと思うので、事故に遭う人が少しでも減るように心がける事

が大切です。

歩きスマホだけではなく、ながら運転も事故につながるケースが多いのです。令和六年の十一月から自転車運転中、停止している間を除いて、スマートフォンで通話したり、画面を注視したりするながらスマホが道路交通法により禁止され、罰則が強化されました。自転車にスマホを取り付けて注視する事も禁じられています。しかし、運転中に通話をしたり、地図アプリを操作しながら運転するなど危険な行為が増えていきます。歩きスマホと同様に自転車と衝突した場合、怪我を負うリスクが高くなります。事故になったり、イヤホンを使用する事で、車のクラクションや自転車のベル、緊急車両のサイレンなどが聞こえないと、他の人にも迷惑がかかります。なので、自転車に乗る場合は、スマートフォンの電源を切るか、着信しても運転しながら使用するのはなく、安全な場所に移動してから、使用する事が大切です。

ながらスマホは自分では気づかないけど周りに迷惑をかけていて最悪の場合、関係ない人を巻き込む可能性があることが分かりました。自分の周りでも起こる可能性があるのが加害者にも被害者にもならないためにも、ながらスマホは避け、事故を減らしていきたいです。



『交通事故にあわなくするために』

浄水北小学校 5年 尾村 雪華

みなさんは、交通事故の怖さを知っていますか。交通事故は身近で、いつ起きてもおかしくない、時には命をうばってしまうようなとても怖いものです。ニュースでも、車が信号を無視して歩行者とぶつかったり、車がかもスピードを出して危ない運転をしていて、他の車とぶつかってしまった、といった事故をよく耳にします。そんな交通事故に少しでもあわないようにするために、私がふだんから心がけてやっている行動や意識している事があります。

一つ目は、横断歩道をわたる時には、しっかりと右、左、右と、左右を確かめるということです。これを意識してやっていることには理由があります。小さい時に、お母さんと近所のお店に買い物に行った時のことです。信号が青になってサッと横断歩道をわたろうとしたとき、ものすごい勢いで左折してきた車ともう少しでぶつかりそうになりました。その時はとても怖くて、泣きそうになりました。その日、家に帰ってから「横断歩道をわたる時はしっかりと左右を見て危ない車などが来ていないかを確かめてからわたる」というルールを家族と決めました。なので今も危ない運転をした車がいなかった、きちんと車が止まってくれているかを確かめています。

二つ目は、どんなに急いでいても危険な行動や事故を起こすリスクが高い行動は絶対にしないということです。この行動を意識するのにも理由があります。私の家の前の道路は交通量がそこまですくないため、横断歩道ではないところで道路を横断する人たちをよく見かけます。確かに信号の所まで行ってわたるより早いと思います。けれど、絶対安全かといえれば安全ではないため、命がなくなってしまうかもしれません。そうじゃなくて

も、大けがをしてしまったりかもしれません。やっぱり、けがなどをしてしまったりかは、急いでいてもきちんと安全な横断歩道をわたるほうがいいと思います。なので私はいつも横断歩道をわたるようにしています。

三つ目は、横断歩道をわたる時は手を挙げてここに人がいますよ、私がいいますよ、とアピールすることです。大きなトラックだったり大きな車だ、と、小学生低学年、中学年の身長では車から見えなくて、そのまま進んでしまったりするかもしれません。しかし、手を挙げると、頭の位置よりも手の位置のほうが上になって、車からも見えるようになります。なので、はしかがらず、めんどくさくがらずに、しっかりと手を挙げて、「ここにいますよー、わたってますよー」

とアピールするということを意識して横断歩道をわたっています。

私は他にも、信号がてんめつしたら横断歩道を急いでわたるのではなく、次に青に信号が変わるまで待つだとか、夜に外出する時は光るものを身に付けたりはんしゃ板を身に付けたりと、交通事故にあわないため、車側に気付いてもらうための工夫や意識、行動を常日頃からしています。このように少しの行動や意識、工夫をするだけで、交通事故にあいにくくすることができ、これが無意識にやれるようになれば、気付けば交通事故にあいにくくするためのたいさくができます。

私は、この作文を書いて、自分の生活を少し振り返ることができました。自分の常日頃からしている交通安全への意識などを家族や周りの人たちに教えていき、それが少しずつ広まっていき、世の中の交通安全の意識が少しでも高まり、交通事故が少しでもなくなるといいなと思います。また、これからも交通事故に少しでもあわなくするための工夫や意識、行動などを続けていきます。

『お父さんへ』

浄水北小学校 6年 土井 慶 祐

いつもバレーの遠征の時に送りむかえをしてくれてありがとう。

お父さんの運転を見ていてすごいと思った事は、一時停止の場所や交差点などで「よし」と声を出して確認している事です。

ぼく達の安全を考えて運転してくれているのが伝わります。お父さんが安全運転をしてくれるおかげでぼくは安心して試合に行けます。

ぼくも自転車に乗る時は安全に気を付けて事故のないようにします。いつもありがとう。



交通安全標語の部

最優秀作品

みためより いのちをまもる ヘルメット

美山小学校 1年 北村 奏多

◎は優秀 ○は佳作

とまってくれてありがとう運動の推進

◎てをあげて うんてんしゅさんに ごあいさつ 若林西小学校 2年 大島 一真
○ピカピカピカ とまってくれてありがとう 今からわたるよ気づいてね

山之手小学校 3年 山崎 千煌

○ありがとう ペこり一つで いい気持ち

若林西小学校 6年 山崎 創平

子ども・高齢者の交通事故防止

◎反しゃ板 ピカッと知らせる いるサイン

元城小学校 4年 高野 知花

◎その一瞬 焦る心が 事故を呼ぶ

猿投農林高等学校 1年 中根 結那

○とう下校 ありさんみたいに 一れつで

寿恵野小学校 2年 安藤 聖空

○右手ピシッ 車から見える 小さな手

小清水小学校 5年 中島 秀

○青信号 それでも確認 右左！！

九久平小学校 6年 中平 心龍

自転車の安全利用促進

◎ぼくたちも 自転車のったら 運転手

野見小学校 4年 西山 宗一郎

◎自転車も 心の中に めんきょしょう

井上小学校 4年 服部 滯

○ヘルメット だれでもできる ご身術

伊保小学校 3年 高氏 琴

○ながらでは 相手も自分も 守れない

若林西小学校 6年 岡田 若菜

○反射材 輝くまほうで 事故が減る

浄水北小学校 6年 三浦 宏翔

ドライバーの安全運転促進

◎ブレーキの 準備はダイヤの マークから

美山小学校 4年 鈴木 竣介

○良い運転 目配り 気配り 二刀流

岩倉小学校 6年 山口 大雅

○遅刻しそう 慌てる気持ちに ブレーキを

浄水中学校 3年 永田 初椋

交通安全全般

◎登下校 慣れた道こそ 危機感を

浄水中学校 2年 鈴木 愛理



優秀／加藤 心夏（広川台小2年）



優秀／中村 郁月（平和小1年）



優秀／廣瀬 汐莉（東山小3年）



優秀／都築 美友（若林東小2年）



優秀／尾崎 滯（浄水中1年）



優秀／南部 暖（伊保小6年）



優秀／久保 綾華（井郷中3年）



優秀／梶田 純礼（浄水中2年）



優秀／手嶋 美緒（前林中3年）



優秀／実繁 和花（猿投台中3年）



優秀／松枝 幹子（一般）



優秀／服部 美葉（朝日丘中3年）



佳作／福岡 奏大（伊保小1年）



佳作／加藤 将真（浄水北小1年）



佳作／柘植 七奈（幸海小4年）



佳作／井口 紗悠（伊保小4年）



佳作／丸山 輝（駒場小4年）



佳作／平野 琴弓（伊保小4年）



佳作／平野 和輝（伊保小6年）



佳作／小寺 武琉（足助小6年）



佳作／林 久玲愛（浄水中2年）



佳作／大西 永真（浄水中2年）



佳作／中本 真人（井郷中3年）



佳作／竹丸 里咲（豊南中3年）

それいけ! 安全君 by K太



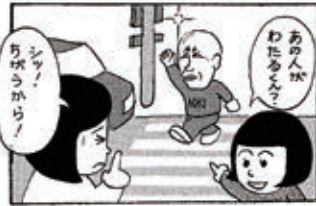
雨の日は視界が悪くなり路面は滑りやすくなります

それいけ! 安全君 by K太



「イライラしたら負け」 by 大谷翔平

それいけ! 安全君 by K太



「ひかっとなるくん」は市内18か所にあります

それいけ! 安全君 by K太



年の瀬も心にゆとりをもって運転しよう!

それいけ! 安全君 by K太



ハイビームとロービームをこまめに切り替えましょう!

それいけ! 安全君 by K太



暑さによる集中力の低下に注意しましょう!

令和7年度 交通安全作品 応募・審査結果

交通安全作文・手紙の部

	応募数	最優秀	優 秀	佳 作
小 学 校	26	2	0	0
中 学 校	5	1	0	0
高校・一般	6	2	0	0
合 計	37	5	0	0

交通安全標語の部

	応募数	最優秀	優 秀	佳 作
小 学 校	1,629	1	5	9
中 学 校	6	0	1	1
高校・一般	89	0	1	0
合 計	1,724	1	7	10

交通安全ポスターの部

	応募数	最優秀	優 秀	佳 作
小 学 校	661	5	5	8
中 学 校	182	1	6	4
高校・一般	7	0	1	0
合 計	850	6	12	12

総計（作文・手紙、標語、ポスター）

	応募数	応募学校数
小 学 校	2,316	50
中 学 校	193	16
高校・一般	102	1
合 計	2,611	67





豊田市
教育委員会賞

柏木 菜帆
(野見小4年)



足助警察署長賞

柴田 衣千花
(則定小5年)



豊田市交通安全
市民会議会長賞

丸山 葵羽
(駒場小6年)

豊田市交通安全市民会議事務局
豊田市役所 交通安全防犯課内

〒471-8501 愛知県豊田市西町3-60
TEL: 0565-34-6633 FAX: 0565-32-3794
HP <https://signal.toyota.aichi.jp/>

